



虹の森通信

本来の森を取り戻すために！子どもの環境教育、植樹、生物多様性の保護...

2012年8月/第2号

活動趣旨： NPO 法人子どもがかける虹の森ネットワークは、国、人種、政党、宗教を超えて、地球上のすべての生き物が調和して生きられる自然豊かな地球の再生に貢献し、20 年後の地球に住む子どもたちが再び自然と共生しながら、心身共に健康で豊かに暮らせる自然循環型社会を実現することを目指しています。

はじめに

皆さんこんにちは。猛暑続きの毎日ですが、お元気で過ごしのことと思います。ロンドンオリンピックでは、日本は史上最多の 38 個のメダル獲得という快挙を果たしましたが、その中でも女性と団体戦の活躍が目立ちましたね。日本人の“和”の素晴らしさとフェアプレーに感動するとともに、夢はあきらめずに頑張り続ければ必ず実現することを実感して勇気をいただいている方も多いことと思います。

さて、虹の森通信第 2 号では、2012 年前半の活動と第 1 号でご紹介した南インドのプログラムの進捗状況をご報告させていただきます。

アメリカの子どもたちからクリスマスカードと義援金が届きました。

昨年の東日本大震災以来、大勢の皆さんからお寄せいただいた義援金や海外からの応援メッセージを釜石市教育委員会を通して、釜石市にある 9 つの小学校に通う子どもたちに送らせていただきました。今年に入ってから、1 月末に、ワシントン在住のベトナム人移民の子供たち 50 数人から、東日本大震災被災地の子どもたちへ励ましのクリスマスカードが届きましたので、日本語に翻訳して、釜石市の小学校に送らせていただきました。カードはすべて手作りで、中には折り紙の動物などをはった立体的で芸術的なカードもありました。この子どもたちは、ワシントン郊外にあるキリスト教教会に所属している「ベトナム人ユースクリスト青少年の会」のメンバーで、ボランティアの方が中心となってクリスマスプロジェクトに参加してくれました。



南インドタミルナドゥ州ニルグリ山岳部の茶畑乱造成による森林伐採によっておこる崖崩れ

また、クリスマスプロジェクトの一環として、その子どもたちが東日本大震災で被災した日本の子どもたちのために義援金を集めて送ってくれました。総額 786.46 ドル、日本円にすると 55,982 円は、昨年と同様、全額釜石市教育振興基金に寄付させていただきました。この基金を通して、釜石市教育委員会が被災した子どもたちの入学準備や学業資金の援助をさせていただきます。



東日本大震災にかかるご支援に対しまして

厚く御礼申し上げます

謹啓 初冬の候ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。本年 8 月 11 日に発生いたしました東日本大震災により西暦をはじめ多くの町が甚大な被害を受けました。

このような中、世界各地、全田各地の皆様より多くのご支援をいただきましたが、特に釜石市から東日本大震災に対する深いごもったご支援を賜りましたこと、衷心より御礼申し上げます。本来であれば、すぐにもご挨拶を申し上げなければならぬところでしたが、心ならずも遅くなってしまいましたこと深くお詫言っております。

さて、震災から 1 年が経過いたしました。釜石においては避難センターや仮設宿舎の開設、あるいは被災した企業の再開への動きがみられるなど、様々な社会経済活動も活発化は始めており、復旧・復興への歩みも着実に進んでおります。

そして、新しい年を迎えるにあたり、今回の災害にも関わることなく、励ますことなくふるさとをましの再生のため、新しいまらづくりを市民参加で推進しているところでもあります。

しかしながら、まだまだ多くの困難がございますことから、今後とも釜石市の新しいまらづくりにご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。暖かなる書中にてご支援への御礼とさせていただきます。

謹言

平成 23 年 12 月

釜石市長 野田文則

アメリカの子どもからのクリスマスカード(上)と釜石市長様からの義援金へのお礼状(下)が届きました

宮脇先生と筑波神社で植樹

6月2日、3日に、茨城県の筑波神社で行われた宮脇昭先生のご指導による植樹祭に招待され、虹の森ネットワークを代表して神森瑛実花が参加しました。この植樹祭は、NPO法人地球の緑を守る会が宮脇昭先生と毎年行っており、今年は外国人も含めて数百人が参加し、たぶん、しい、かし等その土地本来の木の苗を植えました。今回は、植樹だけでなく、前日に行われた植樹の準備にも参加して、山の斜面の土を掘り起こし、水をまき、マルチング（植樹後土が乾燥したり流れたりしないようにかけるもの）のための枝切りをするなど、宮脇方式の全工程を体験させていただきました。苗木を運ぶのに60人近くの参加者が一列に並んで、苗木の入った重い箱を次々とリレー方式で運び、参加者の一体感が強まった植樹祭でした。

宮脇先生は今年84歳と思えないほど若々しく活気に満ちており、参加者を指導されると同時にご自分でも植樹をされていました。瓦礫で作る防波堤作りを昨年からは提唱されて、今年に入ってようやく政府も後押しをしてくださっているようで、お忙しいご様子でした。当NPO法人の顧問をしてくださっているので、現在計画中のインドとペルーの植樹プログラムにはご指導をお願いする予定であります。



筑波山で植樹を楽しむベネズエラとドミニカのJICA研修生



筑波神社の前で宮脇先生と植樹の参加者たち

南インドのプログラム

昨年5月5日に南インドのタミルナドゥ州メトゥパラヤムにあるタミルナドゥ農業大学で行われた国際ワークショップ「森林生態系システムの保全と気候変動の緩和」に招待され、NPO法人の理念と活動についての基調講演をさせていただいたことは、前号でご報告させていただきました。今回は、南インドのプログラムについてご紹介します。ワークショップでの講演の後、タミルナドゥ農業大学森林生態環境学部の学部長バラ博士が子どもがかける虹の森ネットワークの南インドでのプログラム予定地を2日間かけてご案内くださいました。避暑地として有名なニルグリでは、広大な天然林が伐採されてお茶畑と住宅に姿を変えており（1ページの写真）、そのために毎年、あちらこちらで崖崩れが起り被害が絶えないそうです。バラ博士は何とか伐採を食い止め、植林をして、森を自然の姿に戻したいという強い希望を持っています。また、広大な平野部は、インドが誇るインド綿の生産地ですが、染料に含まれる有毒物質が工場排水として川に流れ込んで被害が出ているそうです。化学染料を自然染料に変え、排水システムを進歩させ、さらに川の周りに木を植えることで公害被害を抑えたいと、真剣に訴えていらっしゃいました。

そこで、バラ博士はNPO法人の理念に基づき、子どもたちに森林と環境保護の大切さを教えることで、子どもたちが自然と共存できる社会を作っていくプログラムを推進してきました。その一つとして、二酸化炭素排出ゼロを目指した学校教育の計画を進めてきましたが、現在までに7つの学校がこのプログラム参加に同意してくださっています。



小学校の先生たちに南インドのプログラムを説明する
バラ博士とそのチーム

具体的には、学校での活動で排出されるCO₂を吸収するために生徒たち主体で植樹をする計画です。学校での植樹は、宮脇方式を予定しているため、宮脇昭先生のご指導を仰ぐ予定です。

さらに、学校での自然エネルギーの採用、生活排水の再利用、有機農業の指導、食べ物の残りを有機肥料にして木や農作物を育てるのに利用したりと、自然循環型の生活を生徒たちが体験学習をしていきます。また、小学校でその土地に自生するミツバチやカイコを飼い、そこから取れる蜂蜜や絹を学校のグリーンショップで販売する計画も立てています。農業体験日には、大学の指導で有機農作業体験をしたり、先住民交流日には、森の近くに住む先住民の村を訪ねて、子どもたちの文化交流と森での生活を学んで行く予定です。

新会員のお知らせ

今年新たに、6人の方が会員となってくださいましたのでご紹介します。

糸永美代子様（横浜） 中野直美様（横浜）

中野光様（横浜） 船場和子様（東京）

山口冴子様（横浜） 山口花子様（横浜）

新会員の皆様も、自然を愛し、未来の子どもたちが安心して住める地球を再生することに熱意をもっていらっしゃる方々です。一緒に活動するのが楽しみです。

平成23年度事業報告

6月末に平成23年度の事業報告書を横浜市に提出しました。その内、収支報告は以下の通りです。

収入の部	円
1. 会費・入会金収入	59,000
2. 寄付金	383,362
3. 預金利息	1
4. 東日本大震災義援金	420,610
当期収入合計	862,973
前期繰越差額	△356,362
収入合計	506,611
支出の部	円
1. 事業費	
自然環境保全再生事業	27,853
自然環境に関する教育事業	26,500
子どもと地域住民のネットワーク	59,359
地域社会の自然循環型システムへ	23,624
天然由来の製品の普及啓発事業	20,271
2. 管理費	
事務所賃貸料	360,000
事務用消耗品費	1,911
会議、通信運搬費・交通費	8,446
光熱費	32,845
本・資料費	5,500
3. その他	
東日本大震災義援金	420,610
当期支出合計	986,919
当期収支差額	△123,946
次期繰越収支差額	△480,308

報告書の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡下さい。

おわりに

蝉しぐれが真っ盛りの日本の夏、まだまだ自然が残されていることに安堵しますね。この美しい自然を未来の子どもたちに残すために、世界の子どもたちとひとつになって、自然と共生できる地球を作っていきましょう。まだまだ猛暑が続きますので、お体に気をつけてお過ごしください。

NPO 法人 子どもがかける虹の森ネットワーク Children's Rainbow Forest Network (CRFN)

住所: 〒231-0063 横浜市中区花咲町一丁目42番地1 アイマークス横浜桜木町308

TEL: 090-9141-4825 FAX: (045) 592-1782

E-Mail: CRFN.JP@gmail.com

編集人: 神森瑛実花

